

未来へ(東中だより)

第17号 令和5年1月10日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

卯年に跳躍 油断なく 3学期 始業式の話から(要約)

3名の生徒代表による「3学期の抱負」は、どれも素晴らしいものでした。1年生森結生さんの「タイムマネジメントができる学年集団に」「有言実行を信条に自覚と責任のある生活を」という内容。2年生光益優士さんの「生徒会の役員として挨拶を率先して活気ある中学校に」「1年後の受験に向けて苦手教科にも取り組む」「PDCA サイクルを念頭に計画性のある行動をとる」という内容。3年生鶴崎生真さんの「志望校に絶対合格するために万全の準備をする」「笑顔で卒業するために一日一日を大切に生活し授業に臨む」という内容と「わたしたち3年生は」という意識。どれも東中生としての誇りとすべき指針となりました。

さて、今年の干支は、「うさぎ(卯)」です。うさぎと言えば、洋の東西を問わず色々な物語に登場します。それだけ古くから生命力をもって世界に生息していたということでしょう。

すばやく駆けることを「脱兎のごとく駆ける」といいます。逃げるうさぎのように速く走るという意味ですが、その速さはどのくらいなのでしょう。調べてみると、敵から逃げるときには、時速60kmから80kmになるそうです。時速60kmを秒速に直すと秒速16.6mです。100mをわずか6秒で走るようになります。

そんなうさぎも、競争でかめに負けることもあります。童話「うさぎとかめ」では、途中で昼寝をしておかめに追い抜かれてしまいます。このことは慢心や油断があってはならないという教訓を私たちに伝えてくれます。「因幡の白兎」のエピソードも同じです。出雲に渡りたいうさぎが、ワニに「自分の仲間とどっちの数が多いかくらべよう」ともちかけ、背中を並べたワニの上を渡っていきませんが、もう少しというところで、うまくいったことが嬉しくなりましたことを言ってしまう。その結果、怒ったワニに皮をはがれてしまうという話です。

「跳躍と生命力豊かな」このうさぎ年に、私たちも「慢心と油断なく」物事に取り組んでいきましょう。

<表彰 おめでとう>

○第1回吉野ヶ里町ふるさと発見コンクール

特選 1年 徳安那南 石丸 楓



東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!

旧生徒会役員との懇談

2学期終業式の日、旧生徒会役員の退任式を行いました。1年間しっかりと全校をリードした役員の方皆さん、お疲れ様でした。校長室で役員の方の労をねぎらった折に、新生徒会への託す言葉を受け取りましたので紹介します。

◆会長: 中山さん「みんなが疑問に思っていることを取り上げて、解消してほしい。」

◇副会長: 大園さん「個性が生かせるような学校づくりをしてほしいです。」

◆書記: 石川さん「『今までしてきたこと』にプラスして、企画をより良いものにしてほしいです。」

◆生活部: 小西さん「今以上に全員が安心して、落ち着いて過ごせる環境づくりをしてほしいです。」

◇生活部: 原口さん「交通安全をもっと呼びかけてほしい。服装(校則)の見直しを行ってほしい。」

◆学習部: 中山さん「勉強の楽しさを皆に伝えてください。」

◇学習部: 高橋さん「月1満点テストやお昼寝 week を、ぜひしてほしいです。勉強の楽しさをもっと伝えてください。頑張ってください。」

◇美化奉仕部: 陣ノ内さん「学校全体の『美』を保ち、安心して学校生活を送れるように頑張ってください。」

◆美化奉仕部: 築山さん「ロッカーと机の中をきれいにするように呼びかけを！」

◆保健体育部: 中村さん「何をしたいか具体的に言い、実行してほしい。」

◇保健体育部: 原さん「元気な明るい学校作りを行ってください。」

◇図書広報部: 嘉村さん「毎日の放送を明るく元気に行ってください。」

◆図書広報部: 富永さん「クラスみんなが図書室を利用したり、本を好きになったりするような企画を考えてほしい。」

